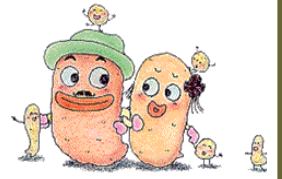


# 湯戸飛夜いけいけだより



Jinen Joe family

## 発行 西徳山まちづくりの会

### 記事:

- ・花いっぱい運動  
「戸田駅を花の駅に」
- ・西徳山の名産品  
「へたこ飯」
- ・連載小説  
『涙にぬれた蒼き  
思いー徳山七土物  
語-』第9回
- ・名所・旧跡  
「堅田家墓所（湯  
野）」
- ・戸田駅前ビアガーデン  
「まちづくり納涼  
会」
- ・今後の行事予定

### 会員募集中

あなたも「西徳山  
まちづくりの会」  
で一緒に活動しま  
せんか。会では、  
常時、会員を募集  
しています。

E-mail :

nishitokuyamamatizuk  
urinokai@gamail.com

### 花いっぱい運動

### 「戸田駅を花の駅に」

私たち西徳山まちづくりの会の活動の一つに「西徳山の玄関口である戸田駅を『花の駅』として整備する」ことがあります。

戸田駅を利用する方に、居心地のいい駅を感じていただきたい。多くの学生の方には、大人になって懐かしいと感じる駅になってもらいたい。私たちの夢はふくらみます。

戸田駅前広場の美観を図るため、毎月2回、第2、第4土曜日に駅前広場の清掃や花壇での花育ての作業をしています。夏には花壇の水やり当番もあります（暑い時、雨が降ったら大喜びです）。

戸田駅前は今、春は桜と芝桜、夏から秋にかけてはほうき草の緑色から赤色への移りかわりの景色がシンボルになりつつあります。もちろん他にもたくさんのかわいい花々を育てています。

戸田駅を利用される皆さんによろこんでいただくこと、それが私たちの励みです。



(春) 桜と芝桜



(春) 新花壇



(秋) 国道2号からの戸田駅前広場進入口



(秋) 新花壇



## 西徳山の名産品 「へたご飯」

西徳山の名産品を挙げてみよう。夜市の里芋、ゴボウ。戸田のタコである。ひと昔前までは湯野にも名産品を作ろうということで、各家庭にスモモの木を植えて、スモモの普及を促進し、ワインまで製造したこともある。今では思い出の一つとなっている。

では、名物というと戸田のナスの辛子漬けくらい。少し前には湯野に「里娘」というシナモン入りで、紙にくるんだおいしい饅頭があったのだが、これもまた後継ぎがいなくて作られていない。

このように数少ない名物・名産品ではあるが、いけいけ便りで取り上げることによって、生きがいのあるまちづくりの一助にでもなればと、シリーズを企画してみた。

今回は、道の駅ソレーネ周南で販売されている人気商品、「へたご飯」をズームアップしてみた。これこそ西徳山の名物になりつつあり、まさに噂の逸品である。

それでは、紹介しよう。目の前に道の駅で買った「へたご飯」。楕円形の器に和紙でハチマキ。それには「へたご飯」と大書してある。製造者は企業組合「ひとめぼれ」。

ふたを開けると、空腹の身に沁みわたるようなこの香り、思わず顎のつけ根から湧き出た唾を飲み込む。これが温かければ、

どれほどのいい匂いだろうかと気は虚ろになる。

へたご飯をひと口ほお張る。口いっぱいいたご飯の味が広がり、感涙にむせびそうになる。たご飯の上のタコのフライに箸を伸ばす。これはタコそのものを揚げたもので、素材を生かした底味がある。これが熱々のパリパリの揚げたてだったら・・・、悔しい。あっという間に「へたご飯」一パックをたいらげてしまった。

企業組合「ひとめぼれ」の人に話を聞いてみた。「わたしらあ、素材にこだわってこしらえよる。地元のタコに地元のコメを使うて、正直に作っちょる。一パック450円、買うて。」

戸田で取れたタコを使って製造したたご飯。縮めて「へたご飯」、一ついかがであろう。



戸田のタコ 生きています



美味しく茹であがりました





## 連載小説

# 『涙にぬれた蒼き思い—徳山七士物語—』 第9回 文 城山 耕筈

(これまでのあらすじ)

1864年8月9日、河本源蔵たちが野上家老の暗殺に失敗し、徳山藩では、これを契機に尊王攘夷活動を進める志士の取り締まりが始まった。同月11日、江田市之進と大城清は藩命として、藩校での役を一方的に解任され、自宅での禁固となった。

8月12日早朝、田中一学をはじめとする数人の徳山藩士が、江田市之進の自宅を訪ねてきた。「江田殿、早朝より申し訳ないが、藩命により、軍政整備と会計について問いただしたい点がある。これから我々に御同行願いたい。」「私は、疑いをかけられるようなことはしていない。」わずかの会話が繰り返され、江田市之進は田中一学たちに同行した。

桜馬場の裏通りにある東関門あたりにさしかかると、田中一学は突如足を止め、後方を歩く江田市之進へ振り返るや、刀に手をやり、一瞬のうちに袈裟切りに刀を振り下ろした。神道無念流の鮮やかな一振り、江田市之進は言葉を発する猶予さえ与えられず、無抵抗な状況で即死に至った。

江田の亡骸は、歴代の徳山藩主の菩提寺である「大成寺」を向いて倒れた。享年33歳、何も弁明の機会さえ与えられない、突然の最期となった。

「後のことは、皆さんへお任せします。」と周囲の徳山藩士へ一言発すると、田中一学は一人その場から立ち去った。

また同じころ、別の一団が井上唯七の自宅にも向かっていた。この一団は、槍術に心得のある井上を捕縛するための対策として、各自が長い棒を持ち、井上からの反抗に備えていた。

「井上殿、おられるか。藩命により、これより我らに御同行願いたい。」と玄関先で一人の藩士が声をかけると、「藩命とは、何か。野上家老の独断であろう。私は行かぬ。」との声が返ってきた。「踏み込め。」との声がかかるや、一斉に長い棒を手にした

一団が井上の自宅に土足で突入し、奥にいる井上を目指して殺到した。屋内では天井の低さから槍が使用できず、井上は刀をすぐ手にしたが、複数人から繰り出される叩きつける棒の動きに刀を打ち落としてしまった。

「お主が言いたいことは後で聞いてやる。藩命である、従え。」との声とともに、井上は一団に捕縛されてしまった。

野上家老の元に戻った田中一学は、「早朝、江田市之進を葬りました。また、別の手の者に、井上唯七の捕縛に向かわせ、浜崎の牢獄に収監する手はずとなっています。」との報告をした。

「間もなく、幕府軍がわが長州に征討してくる。時間がない、何としてもわが藩の危険分子たちを取り締められ。」と、野上家老は苦しい息遣いで田中一学に指示した。

「河本源蔵の捕縛はまだか。小坂次郎佐、浅田又之丞、本田久太夫も奴の仲間であろう。早く対応しろ。」と、野上家老には焦りの言葉もあった。

萩本藩をはじめとする長州各藩は、幕府に恭順の姿勢を示し、長州藩の存続を図るのが第一で、そのために本藩では椋梨藤太、徳山藩では野上源次郎らが尊王攘夷活動を続ける志士の取り締まりに躍起になっていた。

(以下次号)



## 西徳山まちづくりの会

### 編集後記

私たちの会では、春には総会、夏は暑気払い、秋は収穫祭と称して、一日だけの居酒屋を戸田駅前に開店している。

海鮮バーベキューで、生ビールを飲む。生ビールは樽で買って、サーバーで注ぐ。このように書いているだけで、生唾が湧き出てくる。人数は10人余りであるが、実に和やかに時間が過ぎる。まさに至福のひと時である。海鮮はサザエ、ヤリイカ、タイの切り身。季節によってはサンマなどを焼く。それらを食べながら生ビールを飲む。その一日居酒屋をもう何年続けているだろう。これまで午後2時から2時間くらいを目安で開店してきた。それがこんなにおいしい海鮮と生ビールが残るのである。なぜ残るのだろうと考えた挙句、午後12時半からの開店にしたら、なんと足りないくらいなのだ。そうだったんだ。いくらおいしいものでも腹が減っていなければ、食べられないのだ。

昼ごはんの時間にすると、みんなパクパクと小気味よいくらいに食材が減っていく。こんな簡単なことに気が付くの何回費やしたのだろう。これからは空腹時に開店することにした。……

### 発行責任者

会長 神本康雅  
広報部長 木曾裕子

### 西徳山まちづくりの会

ホームページURL:

nishitokuyama.web.fc2.com

## 名所・旧跡

### 「堅田家墓所(湯野)」

堅田就政の建立した菩提寺、仏光山性梅院が湯野にあり、累代の堅田家の墓所があります。

堅田氏が湯野村・戸田村の領主となったのは寛永2年(1625)、2代堅田就政の時、本拠を湯野村に置きました。

知行地持藩士も原則としては萩城下に屋敷を賜って居住したので、湯野村に住むことはありませんが、一番主な知行所に下屋敷を構え、多数の家来を知行地に居住させ、累代の墓地や菩提寺を持つのが例でした。

堅田氏は萩本藩の家臣で、寄組筆頭として永代家老益田、福原両氏に次ぐ家柄です。

この墓所には歴代の墓石があり萩本藩の重臣にふさわしい立派な形式と規模を誇っています。



### 駅前ビアガーデン 「まちづくり納涼会」



平成30年7月28日(土) 12時30分から、戸田駅前広場で駅前ビアガーデンを開店しました。参加者は会員10人、一般参加1人の11人でした。

暑い中、サザエのつぼ焼き、イカ焼きなどを食べながら、キンキンに冷えた生ビールをゴクリ…たまりません!

美味しいBBQを食べながら、まちづくりの話で大いに盛り上がり、暑い夏を乗り切るスタミナを得ました。

また、この10月には、秋の味覚を愉しもうと「秋覚祭(しゅうかくさい)」を戸田駅前広場で開催します。

日時 平成30年10月13日(土)

12時30分~14時

皆様のご来店をお待ちしております。

店主敬白

### 今後の行事予定

#### 西徳山まちづくりの会全体会

原則として毎月第1水曜日の19時30分から夜市市民センター

#### 戸田駅前広場周辺の清掃

毎月第2、第4土曜日の17時から、戸田駅前広場の清掃と花壇の手入れを行っています。

お手伝いしていただける方、大歓迎です。

#### 秋覚祭(戸田駅前ビアガーデン)

日時 平成30年10月13日(土) 12時30分から

場所 戸田駅前広場

会費 2千円